

記録にみる

幕末奈良の大地震

平成25年8月6日(火)～9月29日(日)

開館9:30～17:00(入館は16:30まで)

入館無料

今から約160年前の嘉永7年(1854)に発生した大地震について、「大地震難渋日記(だいじしんなんじゅうにっき)」をはじめとする市内に残る貴重な史料から、当時の人々の驚きや対応の様子をわかりやすく紹介します。

主な展示品

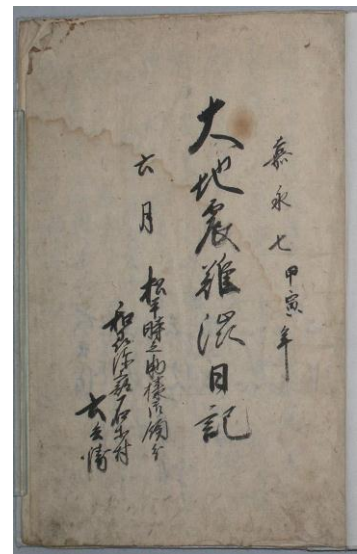
「大地震難渋日記」、「地震帳」、(ともに奈良市指定文化財)
「井上町町中年代記」(奈良市指定文化財)、「東友秋日記」、
「嘉永七年六月大地震瓦版」、古市町有文書 ほか

— 館員による展示解説 —

史料保存館職員による列品解説をします。※申込不要

平成25年8月18日(日)午後2時

9月1日(日)午後3時30分



「大地震難渋日記」

展示関連 歴史講座

「幕末の大地震と民衆」 講師 谷山正道さん(天理大学教授)

9月1日(日・防災の日)午後1時30分～3時 音声館 ホール 定員90名 無料

申込み：往復はがき(1人1枚)に、郵便番号・住所・氏名・年齢・ご連絡先の電話番号とFAX番号を書いて、8月20日(火)必着で、史料保存館(〒630-8337 奈良市脇戸町1-1)へ。Eメール(bunkazai@city.nara.lg.jp)も可。多い場合は抽選。

問い合わせ：史料保存館(電話0742-27-0169)

この展示と講座は奈良市教育委員会が主催しておこないます。展示期間、内容は変更することがあります。

史料保存館

休館日 毎週月曜日(9月16日、9月23日は開館)、
9月17日、9月24日

○近鉄奈良駅から南へ徒歩15分。またはJR奈良駅から南東へ徒歩約20分。

○上記各駅から、市内循環バス「北京終町」下車、北へ徒歩約8分。「天理駅」「下山」行きバスで「福智院町」下車、西へ徒歩約10分。

※駐車場はありません。

